第193回 防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和7年3月5日（水）10時00分～12時00分

2 場所

防衛省庁舎D棟3階第1庁議室

3 出席者

(委員)

田内会長 柴山会長代理 石田委員 片岡委員 清水委員 林委員

(防衛省)

防衛装備庁 西脇長官官房審議官、坂本装備政策部長、藤重調達管理部長、鈴木調達事業部長、伊輪監察監査・評価官（事務局）

統幕首席後方補給官代理後方補給官（補給）、陸幕装備計画部長代理装備計画部装備計画課補給管理班長、海幕装備計画部長代理装備需品課補給管理室長、藤永空幕装備計画部長

4 議題

- (1) 随意契約に係るサンプリング調査審議（令和5年度 航空自衛隊第2補給処）
- (2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和5年度 航空自衛隊）
- (3) 入札状況報告（令和5年度 第3・第4/四半期）
- (4) 次回の日程等

5 議事概要

- (1) 随意契約に係るサンプリング調査審議（令和5年度 航空自衛隊第2補給処）

令和5年度に航空自衛隊第2補給処が締結した契約の中から、サンプリング調査審議の対象として委員が抽出した「STABILIZER VERTICAL」について審議を行った。

(STAVILIZER VERTICAL の概要)

本件は、F-15戦闘機に2枚装備されている垂直尾翼であり、前方ボックス、トルクボックス、後方上部ボックス、後方下部ボックス及びサポートによって構成され

ている STABILIZER VERTICAL の製造請負契約である。

【事前調査における論点等】

- ① 過去実績における年度毎の調達数量、単価について詳細に示されたい。なお、調達数量の算定根拠（令和11年度までのスケジュールを含め）及び単価の増減理由について（特に当該契約と過去の同数調達時よりも価格が高騰している理由）について具体的に説明されたい。
- ② 契約金額の大半を占める下請負会社であるボーイング社に対して、契約相手方である三菱重工はどのようなガバナンス体制のもと、価格交渉を行い価格の適正性を担保しているのか具体的かつ詳細に説明されたい。

【本審議】

（資料に基づき防衛省側から説明）

（STABILIZER VERTICAL）

事前調査の論点①及び②について

委：予算や製造会社の対応可能な生産能力など様々な制約があるということは理解できたが、一方、単価が高くても必要な時に必要な数量を調達するという方法もあると考える。上記制約以外を含め調達数量を算出する根拠について説明されたい。

防：運用に支障が出ないような数量を担保し、かつ、前倒しすぎないように総合的に鑑みて調達計画を立てている。

委：契約相手方が下請負会社に対して価格交渉等を適切に実施しているのか官として定期的にチェックしているのか。

防：チェックしている。

（2） 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（和5年度 航空自衛隊）

【1者応札案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ① 複合機の借上

【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ② 航空自衛隊クラウドシステム（後方支援サービス）システム維持

【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札） 案件 1 件】

③ 防弾盾

【事前調査における論点等】

① 複合機の借上

- ・今回契約の調達期間に係るリース分と、前回契約分について、それぞれのリース台数、1 台分及び 1 台あたりの月ごとの契約金額との比較を示されたい。
- ・仕様書において、カタログ品を 4～5 社示さない理由について具体的に説明されたい。また、仕様変更の頻度や見直す理由についても合わせて説明されたい。
- ・入札参加できなかった業者は、どの調達要求事項を満たせていなかったのかについて具体的に説明されたい。また、その調達要求事項が必須である理由についても合わせて説明されたい。
- ・類似契約は各自衛隊において締結されているが、契約形態、契約条件等を可能な範囲で比較したものを示されたい。

② 航空自衛隊クラウドシステム（後方支援サービス）システム維持

- ・ 1 者応募の改善策として、他社の応札可能性について、どのような調査を実施し、その結果、応札可能とするためにはどのような要素が必要なのかについて具体的に説明されたい。また、今後どのように反映していくのかについても合わせて説明されたい。
- ・当該契約において公募条件となっている技術資料の内容について説明されたい。また、本システムの製造及び維持についての過去の契約において、官へそれらが提出されなかった理由についても合わせて説明されたい。
- ・「後方支援サービス」の具体的な契約内容及び契約相手方について説明されたい。

③ 防弾盾

- ・同等品として具体的に想定される製品について説明されたい。また、仕様書に製品名を記載する理由について説明されたい。
- ・入札参加の可能性ある会社名について示されたい。また、各社の入札した理由、しなかった理由について具体的に説明されたい。
- ・当該品の国際価格の相場を示されたい。
- ・過去同契約及び類似品の調達情報（数量、応札者、落札者、応札金額等）の推移について説明されたい。

【本審議】

（資料に基づき防衛省側から説明）

① 複合機の借上

委：価格算定をするにあたり、他省庁、他機関に同様の契約があれば、それらと比較をすることが有効であると考える。

委：賃貸借期間が一定期間に固定化されているが、今後、再リース等も含め調達要求数量の平準化なども検討されているのか。

防：今後、調達要求の仕様内容に変更がなくなれば、リース期間の見直し等について検討する予定である。

② 航空自衛隊クラウドシステム（後方支援サービス）システム維持

委：他社参入の可能性について見極めながら、調達要求の仕方や契約方式についてより適正な手段を検討されたい。

防：承知した。

③ 防弾盾

委：市場価格調査において、他省庁等の調達価格との比較は通常実施しているのか。

防：実施している。

(3) 入札状況報告（令和5年度 第3・第4/四半期）

各機関等が行う入札について、防衛省大臣官房監査課より当該期間については調査中のため次回に報告したい旨回答した。

(4) 次回の日程等

今回は5月21日（水）の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。